

● イベント報告

☆2/4 梅の剪定 ……(長坂町)

薄曇りだが、風も無くやや温かい立春に、南アルプスが薄ら見える七里ライン沿いの南斜面にある梅園で2回目の梅の剪定作業に参加させていただきました。

昨年収穫した甲州小梅のかりかり漬けは、自然豊かな北杜市の環境の実だったこともあり、美味しくいただきました。

今年の収穫を楽しみに、教わった通りに垂直に伸びた花芽のない徒長枝を中心に枝が重ならないよう、皆さんと協働してあっという間に作業は終わった。

我が家の今年の剪定はこれからだが、参加した経験を生かして剪定をしようと思う。



◎ 同好会だより

★「映画を楽しむ会」より第52回上映会のお知らせ 上映作品：『居酒屋』（フランス、1956年公開、ルネ・クレマン監督作品、115分）

『禁じられた遊び』、『太陽がいっぱい』の名匠ルネ・クレマンが、文豪エミール・ゾラの原作を映画化した世界映画史に残る名画の上映です。

19世紀なかばのパリが舞台。田舎から出てきた若い女性が、貧しさの中で希望を持って精一杯生きようとしても、ダメな男たちに翻弄され、転落していく非情な都会の生きざまを、リアルに描いた作品。華やかな香り立つパリとは裏腹の猥雑な下町のパリ。白黒映画の映像美も堪能できます。

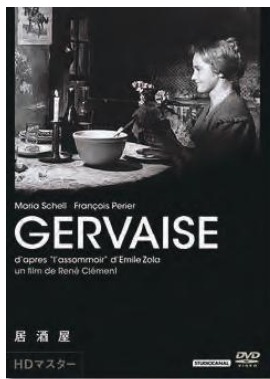
上映会日程：5月25日(木)、午後1時30分開会

会場：日野春学会「ふるさと倶楽部」談話室(理科室)

参加費無料。

申し込みは5月10日(水)午後5時までにお願いします。

お問い合わせ先：



★薪ストーブ愛好会



今シーズンは10月の「クラインガルテン近く」、11月から12月にかけての「大井ヶ森」、1月の「大門ダム」、「若林」の4件を、延べ200人を超える会員の参加を得て、軽トラックおよそ150台分の薪材を収穫できました。現場では毎回伐採等本番作業の前に、世話人と沢山のボランティアの方が下草刈りおよび事前伐採にご協力戴きました。感謝！

今回特筆すべきは「大井ヶ森」、桑の大木が茂る地主さん悩みの種の広大な耕作放棄地。ご主人を亡くされた地主さんのご要望に応えることが出来、また会員も軽トラ山積み薪材を入手できたことです。さらに、地主さんに農地として利用したい方をひき合わせることも出来て、三方目出度し目出度しとなりました!!(●●●●●)

★週末縄文人の会『梅之木だより(5月号)』

週末縄文人たちも例年の冬ごもり期間が過ぎて3月3日から梅之木遺跡での作業を再開しました。昨年やり残した玄関部分の屋根と扉を手直ししてやっと5号棟が完成です。今までの円形住居とは形が異なり、直線と円形を組み合わせた建物なので、また違った建物の雰囲気になった感じがします。縄文人たちも目的や用途に合わせて工夫や意匠を凝らしたのではないかと考えていると、当時の生活の様子などが想像できて興味が深まります。4月からは新たなフェーズとして縄文住居の建設だけではなく、縄文文化に踏み込んだ取り組みにシフトアップしています。これから週末縄文人たちもどのように進化していくのが楽しみです。(●●●●●)



◎ 談話室(理科室)だより

★5月16日(火)13:30~15:00「楽しい家庭菜園」でおしゃべり

コロナも徐々に収まりつつあり、菜園の準備や作業も本格的になってきています。談話室では「楽しい家庭菜園」ということで久しぶりのおしゃべり会(情報交換会)を企画しました。家庭菜園での失敗や成功談など話し合い、助言をもらい、家庭菜園が「楽しく」なるようにしてみませんか。詳しくは行事お知らせニュースを参照して下さい。(●●●●●)